

第28号様式（第65条関係）

地球温暖化対策実施状況報告書

平成27年 7月30日

香川県知事殿

報告者

住所 〒761-8014

高松市香西南町455-1

氏名 アオイ電子株式会社

代表取締役社長 中山 康治

㊞

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
事業者の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	主に、電子部品の製造を行っており、県内に2事業場の生産拠点を有する。
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	指針様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	平成27年 7月 30日
実施状況の公表の方法	弊社のホームページに掲載し、インターネットの利用により公表する。
連絡先	担当部署 品質保証部 担当者 XXXXXXXXXX 電話番号 087-882-1131 FAX番号 087-881-5656 電子メールアドレス XXXXXXXXXX@XXXXXX.XXXXXX

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。

2 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

事業所の名称及び所在地

	名 称	所 在 地
第一種エネルギー管理指定工場		
1	本社・高松工場	高松市香西南町455-1
2	観音寺工場	観音寺市吉岡町262
3		
第二種エネルギー管理指定工場		
1		
2		
3		
それ以外の事業所		
1		
2		
3		

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 26 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		1. 工場生産設備の待機電力の削減に取り組みました。 2. 空気圧縮機の更新を行い効率向上を図り、電力使用量の削減に取り組みました。 3. 空調機の更新を行い効率向上を図り、電力使用量の削減に取り組みました。					
温室効果ガスの排出の削減実績	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度 (平成 26 年度)		
					二酸化炭素換算 (t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等			t-CO ₂		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO ₂		
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂		
		グリーン熱証書の購入			t-CO ₂		
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂		
	国内クレジットの購入			t-CO ₂			
	J-クレジットの購入			t-CO ₂			
	合 計			①		t-CO ₂	
温室効果ガスの排出の削減実績	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (平成 25 年度)	目標年度 (平成 28 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 26 年度)	対基準 年度比 (%)
		温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t)) ② 47,369t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 50,400t-CO ₂	106.4	(二酸化炭素換算(t)) ③ 50,457t-CO ₂	106.5
		<input type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t)) ② 47,369t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 50,400t-CO ₂	106.4	(二酸化炭素換算(t)) ③-① 50,457t-CO ₂	106.5
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B	■■■■ t-CO ₂ /百万個	■■■■ t-CO ₂ /百万個	96.2	■■■■ t-CO ₂ /百万個	88.5
		温室効果ガス排出 量と密接な関係を持 つ値 B	■■■■百万個 (生産数量)	■■■■百万個 (生産数量)	110.7	■■■■百万個 (生産数量)	120.4
特記事項		改正フロン法に伴う業務用空調機器・業務用冷凍冷蔵機器の冷媒の漏えい防止のための管理体制を構築した。					
備 考		電気の二酸化炭素排出係数は、0.000700 t-CO ₂ /kWh → 0.000699 t-CO ₂ /kWh (対基準年度比 99.9%) とほとんど影響はありません。 生産数量の増加により効率良く生産活動を行うことが出来、目標を達成しております。					

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほか、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。
- 「備考」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

【別表2】 アオイ電子株式会社 本社・高松工場（平成26年度分）

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃 料	原油（コンデンセートを除く。）		kl			kl			
	揮発油（ガソリン）		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油		kl			kl			
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	65	t			t	3,302	194.9
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
	高炉ガス		千m ³			千m ³			
転炉ガス		千m ³			千m ³				
都市ガス		千m ³			千m ³				
その他の燃料									
小計 ①								194.9	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②								0	
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千 kWh)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
電 気	一般電気 事業者	昼間買電	31,928	千 kWh		千 kWh		31,928	22,317.7
		夜間買電	22,038	千 kWh		千 kWh		22,038	15,404.6
	その他	上記以外の買電		千 kWh		千 kWh			
		自家発電		千 kWh		千 kWh			
小計 ③								37,722.2	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								37,917.2	

備考 別表1の換算係数に相当する係数で当該燃焼の発熱の程度を示すものとして適切と認められるものを求めることができるときは、別表1の換算係数に代えて当該係数を用いることができる。

電気：0.000699t-CO₂/kWh（四国電力㈱）

【別表2】 アオイ電子株式会社 観音寺工場（平成26年度分）

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
燃 料	原油（コンデンセートを除く。）		kl			kl			
	揮発油（ガソリン）		kl			kl			
	ナフサ		kl			kl			
	灯油		kl			kl			
	軽油		kl			kl			
	A重油		kl			kl			
	B・C重油		kl			kl			
	石油アスファルト		t			t			
	石油コークス		t			t			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	2	t			t	102	6.0
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t		
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³		
	石炭	原料炭		t			t		
		一般炭		t			t		
		無煙炭		t			t		
	石炭コークス		t			t			
	コールタール		t			t			
	コークス炉ガス		千m ³			千m ³			
	高炉ガス		千m ³			千m ³			
転炉ガス		千m ³			千m ³				
都市ガス		千m ³			千m ³				
その他の燃料									
小計 ①								6.0	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
	温水		GJ			GJ			
	冷水		GJ			GJ			
小計 ②								0	
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千 kWh)	二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
電 気	一般電気 事業者	昼間買電	10,671	千 kWh		千 kWh		10,671	7,459.0
		夜間買電	7,135	千 kWh		千 kWh		7,135	4,987.4
	その他	上記以外の買電		千 kWh		千 kWh			
		自家発電		千 kWh		千 kWh			
小計 ③								12,446.4	
合計 (t-CO ₂) ④=①+②+③								12,452.4	

備考 別表1の換算係数に相当する係数で当該燃焼の発熱の程度を示すものとして適切と認められるものを求めることができるときは、別表1の換算係数に代えて当該係数を用いることができる。

電気：0.000699t-CO₂/kWh（四国電力株）

【別表5】アオイ電子株式会社（平成26年度分）

事業所名		自動車 エネルギー使用量・台数									
		ガソリン (kl)			軽油 (kl)			LPG (t)		都市ガス(CNG) (千m ³)	
		台数(台)		軽自動車 除く	台数(台)		軽自動車 除く	台数(台)		総台数	軽自動車 除く
		総台数			総台数			総台数			
1	本社・高松工場	17.7	9	9	7.6	1	1				
2	観音寺工場	2.8	1	1	2.1	2	2				
3											
合計		20.5	10	10	9.7	3	3				

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B = A × C	数値 C	単位	
ガソリン	20.2	kl	709.3	34.6	GJ/kl	47.6
軽油	9.7	kl	365.7	37.7	GJ/kl	25.1
LPG		t		50.8	GJ/t	
都市ガス (CNG)		千m ³		46.0	GJ/千m ³	
合計						72.7

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60 kg/lですが、デフォルト値として0.56 kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法（直接、燃料使用量を把握する方法）によるもの
 燃費法（車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法）によるもの
 その他の方法（ ）

集計表

区分	平成26年度 (t-CO ₂)
エネルギー起源二酸化炭素の排出量（別表2）	50,369
自動車排出の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量（別表5）	72
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	16
エネルギー起源二酸化炭素以外の二酸化炭素	0.3
メタン	2.8
一酸化二窒素	0.5
HFC	13.1
SF ₆	0.1
合計	50,457